



# 横浜市立田奈小学校 学校だより

平成28年 7月 1日

## 7月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

校長 二瓶 光代  
Tel 045-981-0009

## たからもの

～復活する 田奈小郷土学習資料館（仮称）～

校長 二瓶 光代

6月25日で創立143周年を迎えた田奈小学校には、数々の「たからもの」があります。そのひとつが郷土資料です。郷土資料とは、生産・生活・教育・文化に関するこのまちでかつて使われていた道具や文献などです。今から40年前、鉄筋校舎落成を記念し郷土学習資料館を創ることになりました。当時の「資料館設置のお願い」という文書から、学校・地域の方・保護者の方が一丸となって郷土資料を集めてくださったことが分かります。資料の一部は、田奈ステーション2階「まちづくり館」でも展示されていましたが、この度、地域の方々、横浜市歴史博物館、青葉区役所、電鉄会社のご協力を得る機会に恵まれ、2か所に分かれていた資料を一堂に会し、校内に郷土資料館をよみがえらせる計画が進んでいます。9月初旬には完成予定です。教室の名前は、子ども達の発想を取り入れながら決めていきたいと考えています。資料館復活に向けての準備の中で、「道具を見ると、それを使っていた家族の姿が浮かんできます。」「夏の暑い日にリヤカーで、学校まで運んできたのです。」など地域の方から道具に込められた思いを伺うことができました。思いを大切に受け止め、生活科、社会科、総合的な学習の時間などで今まで以上に資料を活用したいと思っています。

40年前の「資料館設置のお願い」には、資料館の活用法が書かれています。そこには、「学習のため常に解放し、学校外の個人や団体の申し込みにより参観の便宜を図る。」とあります。郷土資料という「たからもの」を学校以外の人達も活用できるように考えた地域の方々の崇高な考え方に頭が下がる思いです。

【まちづくり館では、歴史博物館の方が移設に向け丁寧に準備を進めています。】

この精神は絶えることなく40年たった今でも毎年数名の学区外の方が来校され、資料を参観していかれます。「〇〇について自分なりに調べている者ですが、関内の開港記念会館から田奈小にあると紹介されました。」とおっしゃる方もいました。保護者の皆様、地域の皆様もご来校の際は、ぜひ復活した郷土学習資料館にお立ち寄りください。

\*田奈小の郷土資料の「板碑」（いたび）が、この夏休みに横浜歴史博物館の特別展で公開されます。この催しについては、お知らせ文が歴史博物館から届き次第配布いたします。